

進んで学び 心豊かに たくましく生きる子どもの育成に向けて

令和8年1月9日

2学期末に児童・保護者の皆様にご協力いただいた学校評価アンケートがまとまりましたので、ご報告いたします。上野小学校が目指す児童が育成できるようアンケート結果を生かしていきたいと思っております。

1ページと4ページにアンケートの分析を掲載しました。また、2・3ページにはアンケートの結果の一覧表（数字は%を表します）を載せてあります。

分析の中で使われている「保」は保護者アンケート、「児」は児童アンケートです。

「数字」はアンケートの設問番号を示します。

また、A+Bは「よくあてはまる・だいたいあてはまる」を合算した値です。

進んで学ぶ子（学習に関すること）

○保3：「お子さんは授業を理解していますか。94%」

児1：「授業は分かりますか。97%」

「自律した学習者」の育成を目指して、日々授業改善に取り組んでいます。また、各教科のねらいを達成するための一つの方法として、単元内自由進度学習に取り組み、個別最適学びと協働的な学びの実現に向けて取り組んでいます。児童の学びに向かう姿が、自分から学びに向かう姿に変わってきていると実感しています。

○保5：「お子さんは、家庭学習の習慣が身に付いていますか。70%」

児2：「家庭学習の習慣が身に付いていますか。96%」

児童と保護者にギャップがある結果となりました。家庭学習に取り組む量と質に、保護者の皆様に納得していただけるようにしていく必要があります。本校の目指す「自分から取り組む家庭学習」の内容や取り組み方について、保護者の皆様の理解を得られるように努めていきたいと思っております。

たくましく生きる子（進路・生き方に関すること）

○保13：「お子さんと将来のことについて話し合うことがありますか。98%」

児11：「夢や希望について学級や家庭で話し合うなど考えたことがありますか。74%」

児童と保護者にギャップがある結果となりました。家庭で保護者の皆様と自分の将来や就きたい仕事などについて話し合う機会を作ってください、本当にありがとうございます。学校においても、教科や単元の学習内容と連携させながら、仲間と共に自分の将来や夢、希望について語り合う時間の設定・確保に努めていきたいと思っております。

○児13：「学校や学級でチャレンジすることがありますか。96%」

児14：「自分で考え、自分から行動できる力が高まっていますか。95%」

児童会スローガン「Challengeやればできる」を学校生活で実践できていることが分かります。授業・家庭学習・行事・CT・生活の5つの場面で、「自分で考えて、自分で決めて、自分で行動する」力の育成を目指しています。今年度は、6年生が下級生に「マイプラン学習（単元内自由進度学習）」に臨む心構えについて話し合う機会を設け、全校で共通理解を図りました。

思いやりのある子（豊かな心の育成に関すること）

○保8：「お子さんは、思いやりのある言動がとれますか。97%」

児5：「思いやりのある行動がとれていますか。94%」

人権学習習慣の「ありがとうの山」の活動にも、縦割り班の児童に対して、たくさんの感謝の気持ち

が寄せてありました。どれも友達の親切に対する感謝の気持ちでした。同じ学級の仲間や異学年の仲間に対して、当たり前のように思いやりをもって接することができる児童です。このよさを今後も持続していきたいと思います。

じょうぶな体をつくる子 (健康・安全に関すること)

○保 7:「お子さんはいじめを受けず楽しく通学していますか。97%」

見 4:「学校は楽しいですか。96%」

楽しい学校生活に向けて、毎月アンケートを実施したり、日々児童の様子の変化を観察したり、児童の心身の安全・安心に注意を払っています。いじめ防止対策推進法に基づき、いじめの定義や対応についても、職員で共通理解を図り、きめ細かく対応しています。学校が楽しい100%を目指し、いじめ予防や早期発見、迅速対応等を行い、安全・安心な学校生活につとめていきたいと思います。

○保 10:「学校は運動や健康について配慮していますか。91%」

見 7:「体を動かして遊んだり、運動したりしていますか。96%」

今年度は、休み時間の過ごし方について改善を図りました。猛暑が続きWBGTが高く、外での活動が制限されたり、外に出て遊ぶことを強制することについて検討したりして、休み時間の過ごし方についても、児童に委ねることにしました。ただし、体を動かして遊ぶことの効果や体に起こる変化については、児童に知らせた上で、自分にとって必要な時間としました。現在も、外でサッカーをしたり縄跳びをしたり、体育館でドッジボールをしたり積極的に運動している児童がとても多いです。

その他の諸項目について

○保 14:「学校は児童の活躍の場面を設けていますか。88%」

上野小学校では、授業、家庭学習、行事、CT、生活と5つの場面において、「自分で考えて、自分で決めて、自分で動き出す児童」の育成を目指して、教育活動を行っています。児童の伴奏者たる教師の役割を果たし、児童の考えを引き出し、児童と共に話し合い、よりよい教育活動が展開されるように努めていきたいと思います。

○保 15:「学校はよさを認め褒め伸ばす指導を推進していますか。94%」

今年度、全職員で共通理解を図り取り組んでいるのが、「困っても、迷っても、間違っても、失敗しても大丈夫という心理的安全性の醸成」です。特に、自分の意見を述べることができたり、積極的に行動できたりすることができるような雰囲気づくり、学級経営、学校経営に取り組んでいます。児童が安心して物事に取り組むことができるように、自分の考えをしっかりと受け止め、よさを認め褒め伸ばす指導をさらに充実させていきたいと思います。

○保 16:「学校は上野村のよさを生かした活動をしていますか。97%」

上野小学校では、積極的に地域のよさを取り入れて教育活動を行っています。自然環境を生かした取組としてフォレストリースクールやしおじ原生林探検を実施しました。また、総合的な学習の時間の取組として、3年生の「十石みそパーティー」や4年生の「神流川水族館」、5年生の「神流川博物館」、5・6年生の「ジオキャンプin上野村」等で上野村漁協や上野村産業情報センターの方々に協力していただきました。さらに、ティムコやグローブライドなどの企業の方々がとも連携して教育活動を展開しました。「本物に触れる」ことができる上野村のよさを最大限に活用していきたいと思います。

○保 19:「外国語活動を取り入れた英語教育は、英語力を高めていますか。94%」

上野小学校は、教育課程特例校として低学年から外国語活動を行っています。児童のアンケート結果を見ても、積極的に英語でコミュニケーションを図ろうとしている意識が高いことが分かります。外国語活動では、ダンスやゲームを取り入れて楽しく活動できるようにしたり、外国の文化に触れたりする活動を積極的に行い、自分たちの食事や風習、行事などに関連付けて学ぶように心がけています。

○保 20:「花まる学習会での学びを生かし、思考力を高める工夫をしていますか。94%」

年11回花まる学習会を実施しています。そこでは、アルゴやIキューブ等の教材を使い、児童が思考力、発想力を生かして取り組んでいます。こうした機会が、教育活動に生かされるように日々の授業や生活を見直して改善を図ってきたいと思います。